

代表質問

令和7年 第1回定例会 代表質問



議員 久寿 柏原

- ・佐藤市政1期目の総括について
- ・令和7年度予算について
- ・第2次湯沢市総合振興計画の進捗について
- ・第3期湯沢市総合戦略について
- ・農林業の振興について
- ・道の駅おがち周辺整備について

湯沢市議会
ユーチューブ
チャンネル
代表質問の動画を
ご覧になれます。



図っていくのか伺う。

【答弁】 新規就農者の確保を図るため、機械や設備等の導入を支援する制度や、農業試験場などで受講する研修に対する奨励金交付制度など若年層から中年層までの新規参入を支援している。

【質問】 水田活用の直接支払交付金について、国が制度を見直す方針を示したが、本市の今後の対応について伺う。

【答弁】 国の具体的な方針が決定次第、制度改正の情報を迅速かつ的確に農業者の皆さまに周知する。制度が改正されるまでは、産地交付金など、よりよい地域農業に向けて事業を展開していく。

【質問】 酒造好適米の販売促進と普及拡大に向けた支援策を伺う。

【答弁】 販売促進について、令和2年度までは湯沢市酒米研究会の事業に支援していたが、研究会が解散したため現在支援は

【質問】 今後の財政収支見通しを伺う。

【答弁】 多様化する社会に対応していくために必要な行政サービスを維持・提供していくためには、不足する財源は財政調整基金の取崩しで対応していかねればならない。持続可能な財政運営を維持していくため、引き続き適正な運用に努めていく。

【質問】 市町村合併から20年が経過するが、合併時に掲げられた地域間の均衡ある発展について、現状をどのように捉えているか伺う。

【答弁】 まちづくり計画や各種計画に基づき、地域の均衡ある発展を目指し、それぞれの特色を生かしたまちづくりを進めてきた。地域ごとに地域自治組織を設置することで、広域化した行政に声を届ける仕組みを構築した。

社会情勢の変化に伴う課題も顕在化してきているが、市民生活の質や利便性の向上と、それぞれの地域の特性を大切にし、市内全域の均衡ある発展の実現

に向けて取り組む。

【質問】 若者定住のための所得の向上について、どのように施策を展開するのか伺う。

【答弁】 経済的安定と豊かさを実感し、活躍できるよう新たな雇用と仕事の創出を図る。新たな産業団地の造成や企業誘致、起業・創業に対する支援など、所得の向上を図るとともに若者世代の定住を促進していく。

【質問】 農林業の担い手不足や高齢化が深刻であるが、どのように新規就農者の確保と定着を